

電子くじにおける第2落札候補者の決定方法について

【例1】

同値の応札者	入札書提出日時	電子くじ 入力番号 注1	乱数 注2	合計	くじ番号 (合計の下3桁)	到着順の番号
応札者A	2010/6/27 10:00	369 +	275 =	644	644	0
応札者B	2010/6/27 12:00	258 +	302 =	560	560	1
応札者C	2010/6/27 14:00	198 +	321 =	519	519	2
応札者D	2010/6/28 10:00	999 +	417 =	1,416	416	3
応札者E	2010/6/28 11:00	373 +	453 =	826	826	4
応札者F	2010/6/28 13:00	111 +	480 =	591	591	5
合計					3,556	

第1落札候補

第2落札候補

注1) 電子くじ入力番号
入札参加申請時に入力する
任意の3桁の数字です。

注2) 乱数
システムにより無作為に決定
される3桁の数字です。

この場合の計算は、次のようになります。

くじ番号の合計 3,556 ÷ 同値の応札者数 6 者 = 592 余り 4 となりますので、

計算の結果、落札候補者は、次のようになります。

計算の結果、第1落札候補者は、到着順の番号が 4 の者となり、

第2落札候補者は、到着順の番号が 4 の次の番号の 5 の者が第2落札候補者となります

【例2】

同値の応札者	入札書提出日時	電子くじ 入力番号 注1	乱数 注2	合計	くじ番号 (合計の下3桁)	到着順の番号
応札者A	2010/6/27 10:00	407 +	275 =	682	682	0
応札者B	2010/6/27 11:00	212 +	302 =	514	514	1
応札者C	2010/6/27 12:00	558 +	321 =	879	879	2
応札者D	2010/6/27 13:00	925 +	360 =	1,285	285	3
応札者E	2010/6/27 14:00	373 +	370 =	743	743	4
応札者F	2010/6/27 15:00	123 +	382 =	505	505	5
応札者G	2010/6/27 15:30	316 +	399 =	715	715	6
応札者H	2010/6/28 10:00	156 +	405 =	561	561	7
応札者I	2010/6/28 10:30	777 +	420 =	1,197	197	8
応札者J	2010/6/28 11:00	246 +	444 =	690	690	9
応札者K	2010/6/28 12:00	535 +	460 =	995	995	10
応札者L	2010/6/28 13:00	222 +	471 =	693	693	11
応札者M	2010/6/28 14:00	469 +	482 =	951	951	12
応札者N	2010/6/28 15:00	319 +	496 =	815	815	13
応札者O	2010/6/28 15:30	826 +	488 =	1,314	314	14
合計					9,539	

第2落札候補

第1落札候補

この場合の計算は、次のようになります。

くじ番号の合計 9,539 ÷ 同値の応札者数 15 者 = 635 余り 14 となりますので、

計算の結果、落札候補者は、次のようになります。

計算の結果、第1落札候補者は、到着順の番号が 14 の者となり、

第2落札候補者は、到着順の番号が 14 の次の番号の 0 の者が第2落札候補者となります